

この部分を重
ねて、ホッチキ
スなどでとめ
てください。

学習補助具

Qシリーズ

つかいかたハンドブック



Qシリーズの使い方が一目でわかる！

順番に沿って写真を見るだけ！わかりやすい手順

この部分を重ねて、ホッチキスなどでとめてください。

その他にも

Qリング

Qリングは鉛筆等の持ち方補助具です。

鉛筆を握り込んでしまう方、
摘む行為が苦手な方におすすめします。

また障がいをお持ちでない方にも、
正しい鉛筆の持ち方を指示する補助具として
ご利用頂けます。



1

Qリングの小さい穴に鉛筆を通します。



2

Qリングの大きい穴に親指を根元まで通します。



3

できあがり。



ファーストウェブに鉛筆があたることで、安定して持つことができます。

～スプーンの場合～



1

スプーンを通したQリングの大きい穴に親指を根元まで通します。



2

できあがり。

～歯ブラシの場合～



1

歯ブラシを通したQリングの大きい穴に親指を根元まで通します。



2

できあがり。

記載の手順は一例です。
ご使用の際は、使う方にとって最もよい部位・方法でのご利用をおすすめします。

持ち方補助具 Qリング 選び方のポイント 対象年齢は目安です。装着感で、好きなものをお選びください。

	Qリング 2+ソフト (2～4歳対象)	Qリング 2+ (2～4歳対象)	Qリング 4+ (4～8歳対象)	Qリング 8+ (8～歳対象)
指の穴のサイズ				
素材	やわらかい/よく伸びる	硬い/伸びる	硬い/伸びる	やわらかい/よく伸びる
色	薄い	濃い	濃い	薄い
親指のサイズ	細	←————→		太

持ち方補助具 Qリング

この部分を重ねて、ホッチキスなどでとめてください。

その他にも

～歯ブラシの場合～



1 Qグリップの大きい穴に親指を根元まで通します。角柱状部分もあわせて握ります。



2 手のひらからはみでている部分にしるしをつけます。



3 Qグリップを指から一旦外し、しるしをつけた部分をハサミなどで切ります。



4 Qグリップの小さい穴に歯ブラシの持ち手部分を通します。



5 Qグリップの大きい穴に親指を通します。角柱状部分もあわせて握ります。

～スプーンの場合～



1 Qグリップの大きい穴に親指を根元まで通します。角柱状部分もあわせて握ります。



2 手のひらからはみでている部分にしるしをつけます。



3 Qグリップを指から一旦外し、しるしをつけた部分をハサミなどで切ります。



4 Qグリップの小さい穴にスプーンの持ち手部分を通します。



5 Qグリップの大きい穴に親指を通します。角柱状部分もあわせて握ります。



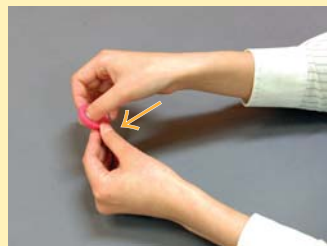
5 Qグリップの大きい穴に親指を根元まで通します。



6 鉛筆を小さい穴にいれます。



7 Qグリップの大きい穴に、もう一度親指を根元まで通して、できあがり。



1 Qグリップの大きい穴に親指を根元まで通します。



2 Qグリップの角柱状部分を薬指・小指側で握ります。



3 手のひらからはみ出ている部分にしるしをつけます。



4 Qグリップを指から一旦外し、しるしをつけた部分をハサミなどで切ります。

Qグリップは鉛筆等の持ち方補助具です。Qリングをうまく利用するためには、指をそれぞれに動かす必要があります。Qリングを使用できない方、使用しにくい方におすすめします。

Qグリップ



記載の手順は一例です。ご使用の際は、使う方にとって最もよい部位・方法でのご利用をおすすめします。

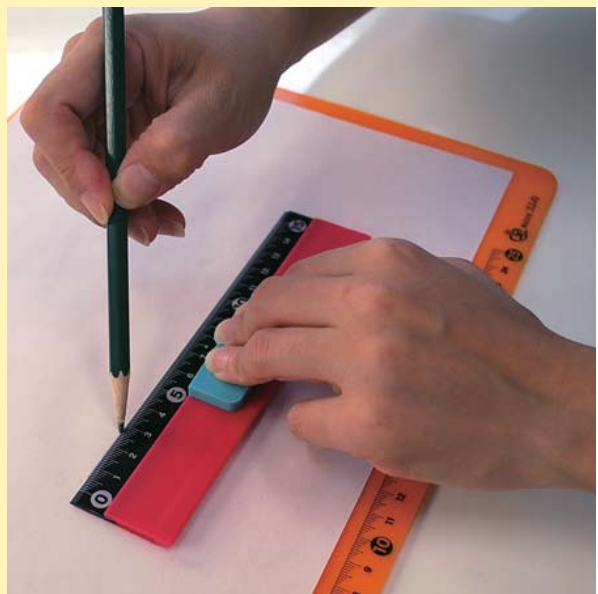
Qスケール15

Qスケール15は、シリコンゴムに覆われた滑りにくい定規です。

通常の定規の場合、線を引くためには、定規を強く押さえる必要があります。

Qスケール15は、シリコンゴムの強い滑り止め効果により、軽く押さえるだけでも定規が動いてしまうのを防ぐことができます。

また特殊な形状により、定規を容易に持ち上げることができます。



1 机の上などの安定した場所で使用します。



ポイント 裏面にホコリがついていたり、汚れてしまっている場合は、水で濡らした布などでよく拭き、十分に乾燥させた後ご使用ください。



2 線を引く際は、定規の取手部分を軽く押さえて使用してください。



ポイント 定規の手前の部分を上から押すことで、定規の片側が持ち上がります。これにより定規をつかみやすくなっています。



3 定規を移動する際は、上面の「摘み部分」を摘んで移動させてください。



ポイント 通常、学校などで使用する筆箱にも収納可能です。使用後は筆箱に入れて保管すれば、無くなってしなうことありません。

この部分を重ねて、ホッチキスなどでとめてください。

滑りにくい定規 Qスケール15

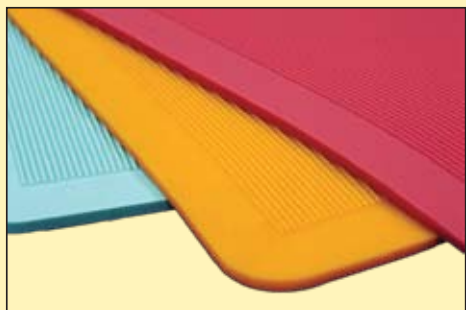
Qチェアマット

Qチェアマットは、椅子などの座面に敷く、滑り止め姿勢保持マットです。

通常学校などで使用される木製の椅子は、硬く滑りやすいため、学習に適した姿勢を保ちにくいことがあります。

結果として、学習効率の低下や、落ち着きがなく見えてしまうといったことをまねく可能性があります。

Qチェアマットは、座面用滑り止めマットとしての役割だけでなく、学習に適した姿勢を保持し、長時間の着座による「お尻の痛み」を軽減する効果もあります。



表面

裏面



ポイント

学校などで通常使用される木製の椅子は硬く滑りやすい

↓
お尻が滑りやすく姿勢が悪くなる

↓
お尻が痛くなります姿勢が崩れる

↓
落ち着きがなく見えてしまう作業効率が悪くなる

Qチェアマットはこの悪循環を断ち切る製品です

学習に適した姿勢をとることで注意力の向上や、道具の操作が行いやすくなり、結果として、学習効率の向上にもつながります。



2

両側の足底がしっかり床につく高さの椅子に、Qチェアマットを敷き、座ります。



ポイント

両側の坐骨に体重をかけ、骨盤がしっかり起きるように座ると、背中が伸びやすくなります。



1

Qチェアマットを、椅子の座面上に敷きます。



ポイント

体圧分散効果のある“ハニカ△形状面”を下側にして、座面上に敷いてください。お尻の痛みを軽減します。



この部分を重ねて、ホッチキスなどでとめてください。

座面用姿勢保持マット Qチェアマット

Q デスクシート

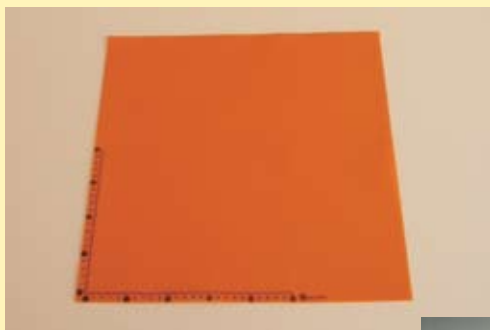
Q デスクシートは、学習時に机等の上に敷く滑り止めシートになります。

上肢機能に障がいのある人や、不器用さをもつ人たちは、片手でうまく紙を押さえることができない場合があります。

この結果、字を書く、消しゴムで消す、定規を使用する、コンパスを使用するなどといったことがうまくできない場合があります。

Q デスクシートを使用することにより、紙などを確実に固定する事ができます。

また、適度な硬さも備えているため、コンパス用のマットや下敷きの代替品としてもご利用頂けます。



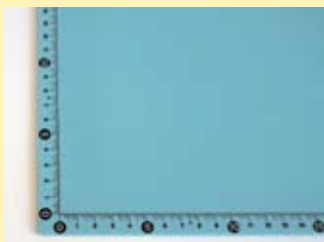
324×232mm
A4サイズ



400×400mm
フリーサイズ

この部分を重ねて、ホッチキスなどでとめてください。

机上用滑り止めシート Q デスクシート



ポイント 特殊な方法で印刷された目盛りは、通常に使用した場合、半永久的に消えることはありません。



ポイント 当社製品「Q スケール 15」と併せてご利用頂くと、より効果的です。



ポイント 印刷された目盛りを使用して長さを測ることができます。コンパス使用時に便利です。



ポイント Q デスクシートは十分な厚みがあり、コンパスの針がしっかり刺さり安定します。



1

Q デスクシートを、机などの安定した場所に敷きます。



ポイント 紙を押さえなくても、「鉛筆などで字を書く」、「消しゴムで消す」ことができるようになります。



Qスイッチ

Qスイッチは、押しボタン式入力スイッチの補助具です。

従来、入力スイッチを使用する際、水平方向からの入力に対応するためには、固定用アームなどを併用しなければなりません。

しかしこれには、大変な労力と費用がかかってしまいます。

Qスイッチは吸盤で貼付けるだけなので、設置が非常に簡単です。

Qスイッチを、補助具として入力スイッチに設置することで、水平方向からの入力にも対応できるようになります。



小型スイッチ用
Mサイズ



大型スイッチ用
Lサイズ

この部分を重ねて、ホッチキスなどでとめてください。

押しボタン式入力スイッチ補助具Qスイッチ



4

Qスイッチの吸盤部分を、入力スイッチのできるだけ中央に貼り付けて、できあがり。



ポイント

吸盤の吸着力が弱くなった場合は、水道水などで洗ってから再度ご使用ください。



3

②で貼った固定用シールのハクリ紙を剥がし、①で敷いたシリコンシートの上に設置します。

ポイント

シールによる固定性を高めるため、おおよそ24時間放置してからご使用ください。



1

付属のシリコンシートを、机の上などの安定した場所に敷きます。



2

入力スイッチの底面に、付属の「スイッチ固定用シール」を貼り付けます。



水平方向の力

Q キャップ

Q キャップは、鉛筆にキャップとして装着、使用する製品です。噛むことで感覚的な欲求が満たされ気持ちよくなります。

Q キャップを噛むことによって、お使いになる方々の体や衣類を保護します。

Q キャップは文房具として携帯できるため、授業中も使用でき、学習への集中力を高めてくれます。

鉛筆から抜かずにご使用ください



転がり防止の突起つき



3

唾液などで汚れた場合は水道水等で洗浄してください。煮沸消毒もできます。

ポイント

キャップの先端が閉じているため、噛んだ際に唾液が侵入するのを防ぎます。

2

柔らかい噛み応えがいい場合は Q キャップの先端部分 (Q キャップ内部が空洞の部分) を噛んで下さい。

柔らか

硬い噛み応えがいい場合は、Q キャップ内部に鉛筆が入っている部分を噛んで下さい。

硬い

ポイント

歯や顎の保護に最適な硬さで設計されています。

ポイント

当製品は食品衛生法基準をクリアしており、口に入れても問題ありません。

1

Q キャップの、キャップ部分を噛んでください。

ポイント

鉛筆から外さずそのままお使いください。(Q キャップは鉛筆に接着されています。)

ポイント

筆記後に黒鉛部をカバーする製品ではありません。

ポイント

鉛筆ではなく、キャップ部分を噛むことにより、体に有害な鉛筆の黒鉛摂取を防止してくれます。



キャップ部分



この部分を重ねて、ホッチキスなどでとめてください。

感覚の欲求充足補助具 Q キャップ

Qカット

Qカットは、片手で紙を切る際に、紙を固定するツールです。

通常ハサミで紙を切るためには、片手で紙を持ち反対の手でハサミを操作します。

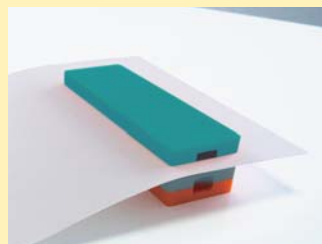
ところが、上肢の片側にまひ等の障がいがある場合、上手く切ることが困難な場合があります。

Qカットを使用することで、片手でも上手くハサミが使えるようになります。

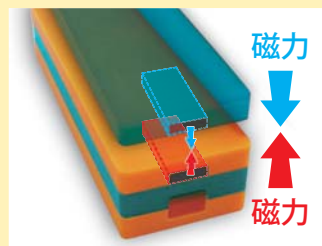
Qカットは、シリコンゴムの強い滑り止め効果により、台が動くことなく安心してハサミを使うことができます。



1 上フタを外します。上フタの中央部分を持ち上げると容易に外すことができます



2 台の上に紙を置きます。上フタを紙の上に置き、紙をはさみます。



ポイント 上フタと下台が強力な磁力で引きあうため、台の位置が合わせやすくなっています。片手で容易に紙をはさむことができます。



3 ハサミを持った手の小指側を机に当てたまま、手前から反対側にスライドするように紙を切ります。

ポイント 台の端まで紙を切ったら再び上ふたを外し、紙の位置をズラして再度固定し直します。

ポイント ぶんちんとしても利用することができます。

この部分を重ねて、ホッチキスなどでとめてください。

はさみ動作補助具 Qカット

Qフレーム

Qフレームは、書き取りの練習が効果的に行える書き取り向上補助具です。

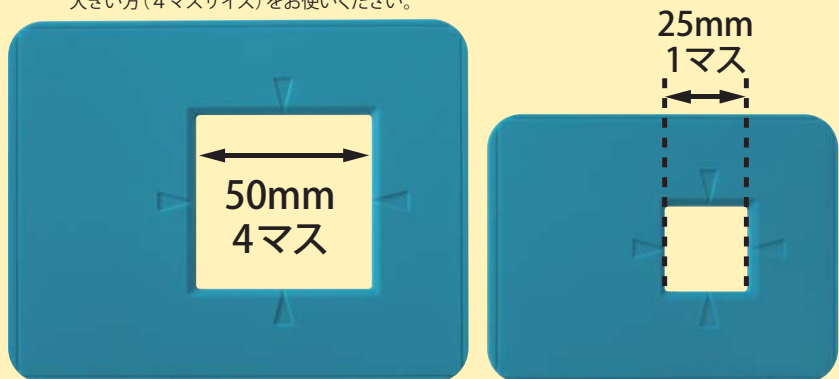
シリコンゴム製のシートに、市販の国語8マスノートのマス目の大きさを正方形の穴がくりぬいてあります。

正方形のフチに鉛筆が当たって塞ぎ止められることにより、文字をマス目からはみ出さずに書くことができます。

マス目に文字を収めて書くことができるため、効果的な書き取りの練習が可能となります。

国語8マスノート以外にも、様々なノートや紙でお使いいただけます。Qフレームを当てることで、マス目がない紙でも大きさを整った文字を書き取る練習ができます。

書き取りの練習をはじめたばかりのお子様は、大きい方(4マスサイズ)をお使いください。



習熟度別に2種類のサイズ 4マスサイズ／1マスサイズ

4マスに1文字を書き取る4マスサイズ／1マスに1文字を書き取る1マスサイズ

この部分を重ねて、ホッチキスなどでとめてください。

書き取り向上補助具 Qフレーム



2

穴の横に設けられた余白部分に、鉛筆を持たない方の手を乗せて押さえて、書き取りを行ってください。

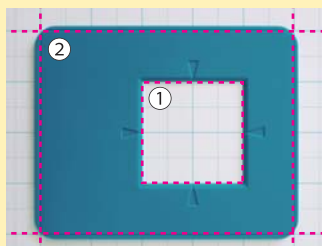
ポイント

右利きの方、左利きの方どちらにもご使用いただけます。

ポイント

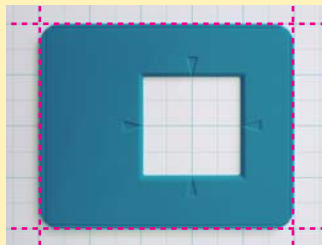
消しゴムで消す練習ができます。Qフレームが、必要な部分を消してしまうことを防ぎます。

ポイント
25mm
マスノート
使用例

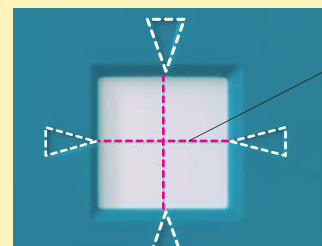


25mmマスノートをお使いの場合は、正方形の穴のフチをノートのマス目に合わせて①ください。外周に掘られた溝にノートのマス目を合わせることもできます②。

ポイント
26mm
マスノート
使用例



26mmマスノートをご使用の場合は、製品の外枠とノートのマス目を合わせてください。



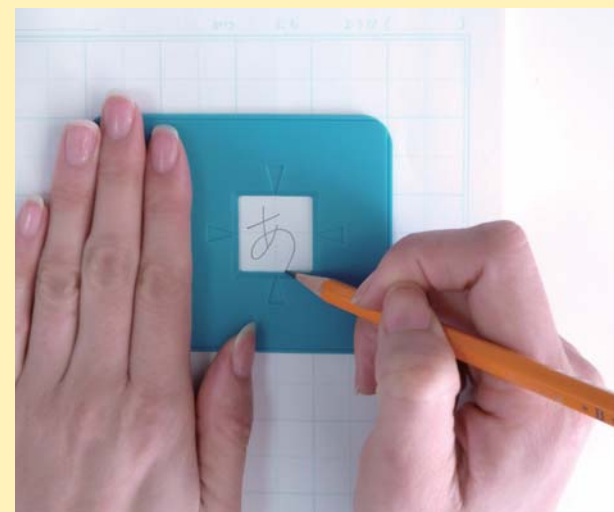
十字リーダー

1

正方形にくりぬかれた穴を、国語8マスノートのマス目に合わせてください。マス目の中央に印刷された点線(十字リーダー)を、三角形のくぼみに合わせると更に合わせやすくなります。

ポイント

市販の国語8マスノートに対応しています。25mmマスノートと26mmマスノートにご使用いただけます。



Qビーズ

お箸の使い方の練習には、一般に市販のビーズや豆などが利用されてきました。これらの素材は表面が硬く滑りやすいため、お箸の練習をはじめたばかりの段階の方には難度が高いものです。

Qビーズはシリコン素材のため、表面が滑りにくく練習が容易です。

適度な重さがあり、つまんでいる感覚を得やすいため練習がしやすくなっています。



1 お箸で、Qビーズをつまんで下さい。

ポイント

シリコン素材のため、表面が滑りにくく練習が容易です。適度な重さがあり、つまんでいる感覚を得やすいため練習がしやすくなっています。

一般に、練習に使われている豆などは、表面が硬くすべりやすい



2 練習される方に応じて、形状を加工することができます。通常ハサミ、カッターなどで加工して下さい。

ポイント

Qビーズはシリコンゴム製のため、ご家庭で簡単に加工することができます。※加工の際には、ハサミ、カッターなどの刃に十分注意して下さい。



3 簡単なものをつまめるようになったら、徐々に難しいものをつまむ練習に移行して下さい。

ポイント



Qビーズは、大きさや形のバリエーションが豊富です。

お使いになる方の段階にあわせ、どれを使用するか比較検討することができます。

この部分を重ねて、ホッチキスなどでとめてください。